

## インドネシア・ジャカルタ中心部での大規模複合開発 「メガクニンガン プロジェクト」開発着手 日本国政府の出資する団体との共同事業

東急不動産株式会社(本社:東京都港区、社長:大隈 郁仁)は、現地子会社である東急不動産インドネシア(本社:ジャカルタ首都特別州、社長:斎藤 圭司、以下 TLID)を通じ、インドネシア共和国のジャカルタ市内中心部(CBD)にあるメガクニンガンエリアで分譲住宅・賃貸住宅・商業施設からなる大規模複合施設開発事業「メガクニンガン プロジェクト」に着手することになりましたのでお知らせします。本プロジェクトは日本国政府などが出資する株式会社海外交通・都市開発事業支援機構(東京都千代田区、以下、JOIN)の参画を得て共同で開発を進めます。



外観全景(予想図)

### ジャカルタ中心部の大規模再開発エリアでの複合施設開発事業

本物件はジャカルタ市内中心部(CBD)に位置し、市内有数の大規模再開発が進んでいるメガクニンガンエリア内の約1万㎡の敷地で分譲住宅・賃貸住宅・商業施設からなる大規模な複合施設開発・賃貸運営事業になります。

現在、東急不動産ホールディングスグループが開発を進める高層分譲マンション「BRANZ SIMATUPANG」と「BRANZ BSD」に次ぎ、今回の事業はインドネシアで3物件目となる当社グループ主導型の都市型開発事業となります。また当社グループにとってインドネシアで初めて行う大規模複合施設開発・賃貸住宅運営事業となります。

用地取得・開発・設計・施工・管理運営を一貫して日系企業が行うことや、日系メーカーの先進的な住宅設備機器の導入を積極的に採用することなどを検討しており、当社グループのインドネシアでの開発ノウハウを元に、日本の優れた建築技術・先進技術を積極的に取り入れることで、成長著しいインドネシアの首都ジャカルタに新しいライフスタイルを提案することを目指しています。

また、分譲住宅・賃貸住宅・商業施設開発といった当社グループが日本で培ってきたノウハウによる複合施設開発および賃貸資産による安定収益を得られる本事業は、インドネシア現地に根付いた持続的な事業展開を目指す当社グループにとって、今後のインドネシア事業において最も重要な事業の一つとして位置付けております。

## 株式会社海外交通・都市開発事業支援機構(JOIN)との共同事業で実施

JOINは日本国政府と一般社団法人などが出資し2014年、海外のインフラ市場への日本企業の参入促進を目的として設立した団体です。本事業に対する最大65億円の出資支援については2017年12月22日付で国土交通大臣より認可を受けました。この日の認可によりJOINと共同で事業を進めていくことが決定いたしました。



敷地外構(予想図)

### ■メガクニンガン プロジェクト概要

名称	メガクニンガン プロジェクト
敷地面積	約 11,254 m <sup>2</sup> (将来道路提供面積含む)
延床面積	約 110,000 m <sup>2</sup> (予定)
総戸数	未定
建物計画	分譲住宅・賃貸住宅 利便商業施設(スーパーマーケット、飲食店、サービスオフィス等を予定)
マンション内の主な共用施設	屋外プール、ジム等
総合設計監修	株式会社東急設計コンサルタント
施工	未定
竣工・引渡	2022年(予定)

### ■プロジェクト位置図

